

## 会 記

### 評議員会報告

1. 7月14日、法人化検討委員会より提出された、法人化の大枠及び定款案について、7月28日締切で通信評議員会に意見募集を行った。
2. 7月28日、2024年国際昆虫学会議招致検討委員会からの報告に沿って、日本昆虫学会が招致に向けた取組みを進めることの可否について、2016年8月10日(水)正午締切の通信評議員会に諮った結果、承認され、ICE2024 招致検討委員会よりも規模の大きい招致委員会を今年のうちに立ち上げるための準備を始めることとなった。
3. 法人化検討委員会から答申のあった定款案が現在の日本昆虫学会の会則に則ったものではなかったため、執行部内において根本から定款案を見直し、会則に則った定款案を作成した。8月8日、この定款案について、8月25日締切で通信評議員会での意見募集を行った。
4. ICE2024 招致検討委員会からの報告を受けて、日本応用動物昆虫学会会長、日本昆虫学会会長、日本昆虫科学連合代表、国際昆虫学会評議員により、2024年ICEの招致に向けた具体的な課題を議論する招致委員会の設置について協議を行った。各団体から3名程度を招致委員会の委員に推薦するという結論に至り、昆虫学会からは小野正人会員(玉川大学)、吉村真由美会員(森林総合研究所)、徳田誠会員(佐賀大学)の3名を委員として推薦したい旨、会長より申し出があった。11月9日、この件に関して2016年11月22日(火)正午締切の通信評議員会に諮った結果、承認された。
5. 12月9日、ミツバチサミット実行委員会より後援の依頼のあった「ミツバチサミット2017」に関し、後援名義の使用を承認することになったことを報告した。

(庶務幹事 吉村真由美)

### 庶務幹事報告

2016年10月18日、執行部内において見直した定款案を、会員にお知らせメールにて通知し、11月13日締切で会員からの意見募集を行った。

(庶務幹事 吉村真由美)